

図案表現 課題

2024年・前期の商業施設士資格試験・構想表現（実技）試験、**図案表現**は、以下の内容などをもとに、試験時間内（180分）に、設計主旨、平面図、透視図（イメージパース）を完成させる課題となっています。

テーマ：「オフィスビル空き空間の有効活用」
～福利厚生と働き方改革を捉えて～

－ 周辺環境 －

- この当該ビルは、都心のオフィス街にあり、全フロアを某企業が1社で使っている。
- コロナ禍の終息と働き方改革をふまえ、ビル内ワーカーの福利厚生と、来訪者とのコミュニケーションを目的とした空き空間のリノベーションである。

－ 設計対象等条件 －

計画場所のワンフロアに、ミーティングスペース（会議ができる間地切られた空間）とリースペース（打ち合わせや休憩など自由な用途に対応できる空間）と商業スペースを計画する。

商業スペースは、(1)「カフェ」、(2)「レストラン」、(3)「ラウンジ」、(4)「ベーカリーショップ」、(5)「コンビニエンスストア」のうち1業種もしくは2業種の併設とし計画する。

－ 設計図書 －

設計主旨： 200字程度で具体的にかつ簡潔に記述する

平面図： 縮尺1：100、鉛筆等を用い（フリーハンド可）、答案用紙の所定の位置に作図する面積、家具、仕上、寸法（単位：ミリメートル）等を記入

透視図： 一点透視図法または二点透視図法で、商業スペースを含む表現とし、色鉛筆または（イメージパース）マーカーで着色する（併用可）

[答案用紙：A3判 × 2枚]

注 i：その他の与条件については、試験日当日の構想表現（実技）試験時間内に問題用紙に記載して配布します。

注 ii：卓上計算機の使用は可となっていますが、スマートフォンを含む電子機器の機能中の計算機（電卓機能）は使用不可とします。

注 iii：その他試験に関する詳細は総合案内書をご覧ください。

注 iv：本紙は、試験時間中に試験室（決められた座席）に、携行することができません。